

くるめ生きものプラン 平成 29 年度実績報告について

1. 計画の目的と概要

「くるめ生きものプラン」は、久留米市環境基本計画の基本目標の1つである「豊かな自然環境の保全と共生」の実現を目的に、平成29年2月に策定いたしました。

生きものプランでは、2050年までに目指す社会「自然とふれあい、自然と生きるまち くるめ」の理念を設定し、その社会の実現のための各種施策の展開を図っています。

2. 平成29年度くるめ生きものプラン重点指標状況について

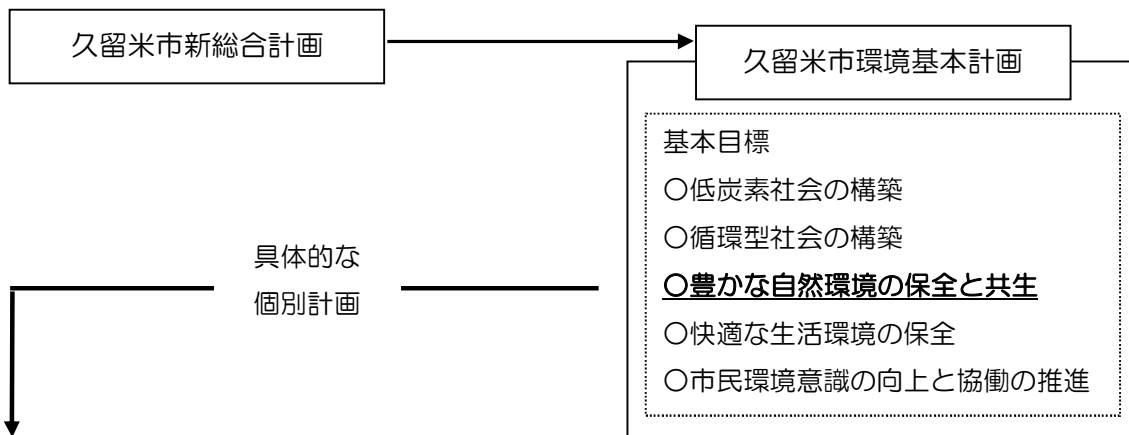
目指す社会の実現に向け、3つの目標をかけた、目標の達成にあたり、8つの重点指標を設定し、各施策の進捗状況を確認しています。

なお、平成29年度の進捗状況は以下のとおりです。

| 目標 | 指標 | 戦略策定時 | 数値目標 | 現状 (H29年度) |
|---|---|------------------------------|-------------------|---------------|
| づくり 生きもの の 生息環境 が 守られた まち | 指標種の設定 | 未設定 | H32年度までに 設定 | 未設定 |
| | 緑の量 (公園・市民の森・保存樹木等の合計面積) | 現状 320 ha (H22年度) | H32年度までに 346ha | 353.7ha |
| | 花や緑、水辺などの魅力が高まった と感じる市民の割合 ※市政アンケートモニター(くるモニ)調査結果 | 現状 78 % (H27年度) | H31年度までに 85% | 61.5% |
| 仕 組 み づ く り 自然と暮ら しが つ な が る | 農用地面積に占める、多面的機能の維持に 取り組む地域活動面積の割合 ※多面的機能支払交付金実績 | 現状 69 % (H27年度) | H31年度までに 75% | 69% |
| | 日常で環境に配慮した取り組み をしている市民の割合 ※市民意識調査結果 | 現状 76 % (H27年度) | H32年度までに 80% | 75.6% |
| 育 成 自然を守り、暮ら しに つ な げ る 人 の | 生物多様性の認知度 ※市政アンケートモニター(くるモニ)調査結果 | 現状 25 % (H27年度) | H32年度までに 45% | 24.2% |
| | 宮ノ陣クリーンセンター 環境交流プラザ利用人数 | 年間 30,000人以上 (H28年4月オープン) | 年間利用人数継続 | 37,655人 |
| | 自然や生きものを守るための活動や 行動をしている人の割合 ※市政アンケートモニター(くるモニ)調査結果 | 現状49% (H27年度) | H32年度までに 60% | 26.7% |

参 考

・くるめ生きものプラン体系図



| | | | | |
|-----------------------------|-------------------------------|-----------------------------|--------------------|--|
| 久留米市生物多様性地域戦略 くるめ生きものプラン | 目指す社会 自然とふれあい、自然と生きるまじりくるめ | 目標 | 施策名 | |
| | | 生きものの 生息環境が 守られたまちづくり | 希少生物の保全 | |
| | | | 市街地での生態系の保全 | |
| | | | 自然とのふれあいの場の創出 | |
| | | | 山林の保全、再生 | |
| | | | 生きものの移動等に配慮した施策の推進 | |
| | | | 外来種への対応 | |
| | | | 有害鳥獣への対応 | |
| | | | 田園などの里地里山の保全・再生 | |
| | | 目標 | 施策名 | |
| 自然と暮らしが つながる 仕組みづくり | 産業 | 生物多様性に配慮した農業・農村の振興 | | |
| | | 生物多様性に配慮した事業活動の促進 | | |
| | 暮らし | 生物多様性に配慮した暮らしの促進 | | |
| | | 生物多様性に配慮した消費行動の促進 | | |
| | | 温暖化緩和策の促進 | | |
| | | 循環型社会構築に向けた取り組み | | |
| 目標 | 施策名 | | | |
| 自然を守り、 暮らしにつなげる 人の育成 | 環境学習の機会や情報の提供 | | | |
| | 自然とのふれあいや環境保全活動を行う人材の育成 | | | |
| | 自然観察会の実施 | | | |
| | 市民団体の活動支援 | | | |

環境審議会 資料6
平成30年11月22日
環境部 環境保全課
(別紙資料)

くるめ生きものプラン 平成29年度実績報告

くるめ生きものプランの実績について

くるめ生きものプランは、久留米市の豊かな自然を守り、次世代に引き継いでいくために、「自然とふれあい、自然と生きるまち くるめ」を目指すくるめの姿としております。目指すくるめを実現するための具体的な取り組みとして、平成32年度を短期目標と定め、3つの目標に基づく18の施策を推進していきます。

※久留米市環境基本計画に基づく行動計画と重複している事業の実績報告は省略させていただきます。

目標1 生きものの生息環境が守られたまちづくり

| 重点事業 | | | | | |
|------|-----------------------------|---|-------|-------------|--------|
| 事業No | 事業名 | 事業内容 | 担当部 | 担当課 | 環境基本計画 |
| 1 | 自然環境の保全と共生事業（生物多様性の実態把握・保全） | 自然環境調査を実施し、希少な野生生物の実態把握・保全に努めます。自然環境調査の結果を踏まえ、指標種を設定し、市内における希少生物の生息状況や経年変化の把握に努めます。 | 環境部 | 環境保全課 | 重点11 |
| 2 | 花とみどりの景観整備事業 | 市街地に四季折々の花々を効果的に配置することにより、緑あふれる都市景観の形成を図り、都市の魅力を向上させます。 | 都市建設部 | 公園緑化推進課 | 重点16 |
| 個別事業 | | | | | |
| 事業No | 事業名 | 事業内容 | 担当部 | 担当課 | 環境基本計画 |
| 1 | 中心市街地拠点緑化事業 | JR久留米駅から西鉄久留米駅までの「シンボルロード」における緑化スポットの整備を行います。また、久留米シティプラザ周辺や西鉄久留米駅周辺などに緑化拠点を整備します。 | 都市建設部 | 公園緑化推進課 | |
| 2 | 市民とつくる花と緑のまちづくり事業 | 街なかの効果的な緑化や地域の特性を活かした緑化など、自然と共生した、季節感あふれる空間づくりを進めます。 | 都市建設部 | 公園緑化推進課 | 個別40 |
| 3 | 生け垣設置奨励制度 | 生け垣を設置した市民・事業者に対して補助を行い、一般家庭・事業所の緑化促進を図ります。 | 都市建設部 | 公園緑化推進課 | 個別41 |
| 4 | 都市基幹公園整備事業 | 市内の南西部の核となる総合公園（津福公園）の整備を行います。 | 都市建設部 | 公園緑化推進課 | 個別43 |
| 5 | 都市景観形成促進事業 | 景観重点地区の指定や、景観重要樹木・景観重要建造物の指定を行い、良好な景観形成の促進を図ります。 | 都市建設部 | 都市計画課 | 個別42 |
| 6 | 住区基幹公園整備事業 | 地域資源を生かした特色ある公園の施設計画を地域との協働で策定し、公園整備を行います。 | 都市建設部 | 公園緑化推進課 | 個別44 |
| 7 | みどりの里地域活性化事業 | 地域活性化と緑花木振興を図るため、耳納北麓地域に存在する地域資源を活用した各種施策を進めます。 | 農政部 | みどりの里づくり推進課 | |
| 8 | 森林総合整備事業（荒廃森林再生事業） | 15年間以上整備されていない個人や法人が所有する人工林について、福岡県森林環境税を財源として、間伐等の整備を行い、森林の再生をめざします。 | 農政部 | みどりの里づくり推進課 | 個別29 |
| 9 | 自然環境の保全と共生事業（外来種対策） | 久留米市アライグマ防除実施計画や生態系被害防止外来種リスト、福岡県侵略的外来種リスト等に基づく計画的な防除等の外来種対策を実施します。 | 環境部 | 環境保全課 | 個別27 |
| 10 | 有害鳥獣広域防除対策事業 | 市内の農林産物を有害鳥獣類の被害から保護するため、「久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会」参加の関係団体と協力し、適正な防除及び駆除を行います。 | 農政部 | みどりの里づくり推進課 | 個別26 |

| | | | | | |
|----|------------------------|--|-----|-------|------|
| 11 | 中山間地域等直接支払事業 | 中山間地域等における農業生産活動を維持し、農業が持つ多面的機能の確保を図るため、集落内の協定に基づく農業生産や農用地の維持管理等の取り組みを促進します。 | 農政部 | 農政課 | 個別30 |
| 12 | 自然環境の保全と共生事業（地域との協働事業） | まちぐるみで行われる環境保全活動を支援します。 | 環境部 | 環境保全課 | |

目標2 自然と暮らしがにつながる仕組みづくり

重点事業

| 事業No. | 事業名 | 事業内容 | 担当部 | 担当課 | 環境基本計画 |
|-------|-------------------------------|--|-----|-------|--------|
| 3 | 多面的機能支払い交付金事業 | 農業者・非農業者が一体となり、地域ぐるみで農地周辺の水路の草刈り、泥上げ、農道の砂利舗装等の共同活動を行うことにより、農村の豊かな自然環境や景観の保安全管理を行います。 | 農政部 | 農村整備課 | 重点12 |
| 4 | 自然環境の保全と共生事業（生物多様性に配慮した行動の推進） | 生物多様性に配慮した行動の推進するために、普段の生活のなかでできる行動リストを作成し、市民団体と協働しながら普及に努めます。 | 環境部 | 環境保全課 | |

個別事業

| 事業No. | 事業名 | 事業内容 | 担当部 | 担当課 | 環境基本計画 |
|-------|---------------------------|--|-------|--------|--------|
| 13 | 環境保全型農業の推進（環境保全型農業直接支払事業） | 市内で環境にやさしい農業に取り組む農業者グループを支援します。具体的には、化学肥料・化学合成農薬の5割低減の取組とともに、緑肥の作付、有機農薬、堆肥の施用などの取組を行った場合に国から交付金が支給されます。 | 農政部 | 生産流通課 | |
| 14 | 環境負荷低減促進事業（環境共生都市づくり協定） | 市と協定を締結した企業は、環境負荷低減計画を策定し、目標を定めて温室効果ガスの排出削減や廃棄物の減量、緑化の推進などに取り組み、毎年、活動結果を市に報告し、市は、計画策定の支援、環境に関する情報や補助金につながる情報の提供及び市のホームページでの環境配慮活動のPR等のバックアップを行います。 | 環境部 | 環境政策課 | 重点20 |
| 15 | 環境美化促進事業（くるめクリーンパートナー） | 個人や企業等の活動希望者が、道路、公園、河川などの公共施設の中から活動範囲を決めて定期的に清掃等の美化活動を行う、くるめクリーンパートナー制度を推進し、公共施設の美化を促進します。 | 環境部 | 環境政策課 | 重点15 |
| 16 | 生活排水処理施設整備事業 | 地域特性にあった効率的な汚水処理事業（下水道事業・浄化槽事業等）を促進することにより、生活環境及び公共用水域の水質の保全を図ります。 | 上下水道部 | 下水道整備課 | 重点14 |
| 17 | 自転車利用促進事業 | マイカーから環境への負荷が小さい自転車への転換を促進することや、市民や来街者の新たな移動手段として活用するために、コミュニティサイクル（愛称：くるクル）の利用促進を図ります。 | 都市建設部 | 交通政策課 | 重点4 |

| | | | | | |
|----|------------------------------|---|-------|---------|------|
| 18 | 環境負荷低減促進事業 (エコ活動促進事業) | 市民・事業所・行政が協働してエネルギー利用効率化を中心としたエコ活動を行い、地球温暖化緩和に取り組みます。 | 環境部 | 環境政策課 | 重点19 |
| 19 | 新エネルギー政策推進事業 | 化石燃料の中では最も炭素率が低い天然ガス(LNG)等を活用したコージェネレーション機器など、自立分散型エネルギーシステム設置の取り組みを促進するため、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム(エネファーム)設置に要する経費の一部を助成します。 | 環境部 | 環境政策課 | 重点1 |
| 20 | 緑のカーテン推進事業 | 地球温暖化の緩和の一環として、公共施設にアサガオやゴーヤなどのつる性植物で覆う「緑のカーテン」を設置し、建物全体を冷やすとともに市民の目にふれやすい公共施設に設置することで家庭における緑のカーテンの実践を促します。 | 環境部 | 環境政策課 | 個別13 |
| 21 | 防犯灯設置推進事業 | 白熱灯・蛍光灯・水銀灯などで設置されている防犯灯について、LED等の省エネ・高寿命タイプの照明にするための補助を実施し、節電とともに照度確保による安全・安心な地域づくりを支援します。 | 協働推進部 | 安全安心推進課 | 重点3 |
| 22 | ごみ減量・分別リサイクル事業(生ごみ等の自家処理の推進) | 家庭から出る生ごみや剪定枝、落ち葉等の自家処理を推進するため、環境フェアや3R推進事業などイベントでの講習会や、地域での3R学習会などを通じて、様々な手法等を体験させながら、家庭での取り組みを拡大に努めます。 また、家庭用の生ごみ処理容器(コンポスト容器、密閉容器)や段ボールコンポスト、自家処理機器(電動式生ごみ処理機、小型剪定枝粉碎機)の購入費の一部を補助し、生ごみの自家処理を推進するとともに、発生源でのごみの減量を図ります。 | 環境部 | 資源循環推進課 | 個別17 |
| 23 | ごみ問題啓発広報事業 | ごみ減量・リサイクルの促進のため、環境広報紙エココなどの広報紙を定期的に発行するとともに、地域において3R学習会を開催し、ごみの排出者である市民・事業者の意識啓発を図ります。 | 環境部 | 資源循環推進課 | 個別14 |
| 24 | 生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業 | 生ごみの減量・堆肥化や野菜づくりなどに関する知識と技術を持つアドバイザーを、保育園や学校、地域等に指導者として派遣し、「生ごみの堆肥化→野菜作り→収穫→調理」という食の循環を体験してもらうことにより、生ごみの減量・リサイクルを促進するとともに、物(食べ物)を大切にすることを育む「食育」の促進を図ります。 | 環境部 | 資源循環推進課 | 重点8 |

目標3 自然を守り、暮らしにつなげる人の育成

| 重点事業 | | | | | |
|-------|---------------------------------|--|-----|-------------|----------|
| 事業No. | 事業名 | 事業内容 | 担当部 | 担当課 | 環境基本計画 |
| 5 | 自然環境の保全と共生事業（環境フェア等） | 市民の皆さまに、地球温暖化問題やごみ減量・リサイクルについての展示などを、見て、体験して、学んでもらい、地球環境問題などについて考え、行動する契機としてもらうことを目的に開催します。 | 環境部 | 環境保全課 | 重点17 |
| 6 | 環境まなびのまちづくり事業（市民団体との協働事業） | 市内で活動するNPOや市民団体を対象として、生物多様性の講座を実施し、人材の育成を図ります。 | 環境部 | 環境保全課 | |
| 個別事業 | | | | | |
| 事業No. | 事業名 | 事業内容 | 担当部 | 担当課 | 環境基本計画 |
| 25 | 環境まなびのまちづくり事業（環境交流プラザの活用） | 環境交流プラザを活用して、自然環境の保全や共生、生物多様性の啓発を行います。 | 環境部 | 環境保全課 | |
| 26 | ごみ問題啓発広報事業（個別23再掲） | ごみ減量・リサイクルの促進のため、環境広報紙エココなどの広報紙を定期的に発行するとともに、地域において3R学習会を開催し、ごみの排出者である市民・事業者の意識啓発を図ります。 | 環境部 | 資源循環推進課 | 個別14（再掲） |
| 27 | 環境負荷低減行動推進事業 | 児童・生徒の環境配慮意識の向上を目的に、自ら計画を立て、主体となって、教職員と共に役割を分担して行動し、記録し、定期的に見直すことができるよう取り組みます。また、何のために「学校版環境ISO」に取り組むのかについて理解を深めるために、小学校5年生以上を対象に宮ノ陣クリーンセンター啓発施設を活用した環境学習会を行います。 | 環境部 | 環境政策課 | 個別50 |
| 28 | 環境まなびのまちづくり事業（生ごみリサイクルリーダー育成事業） | 家庭から排出される生ごみの堆肥化を促進するため、生ごみリサイクルに興味を持つ人に地域等で生ごみリサイクルを指導するリーダーとして活躍していただけるよう生ごみリサイクルに関する知識の講習等を実施し、育成を進めます。 | 環境部 | 資源循環推進課 | 重点17 |
| 29 | 環境まなびのまちづくり事業（自然観察会） | 自然観察会等を通して、自然とのふれあいの場の提供や自然環境保全活動を促進し、自然環境や生態系の保全意識向上を図ります。 | 環境部 | 環境保全課 | 重点18 |
| 30 | 四季の森ふれあい教室事業 | 耳納山系の森林が持つ機能を高度に発揮させることで、市民が安らぎや季節を感じるができる交流事業を開催する、四季の森ふれあい教室開催委員会の取組を支援します。 | 農政部 | みどりの里づくり推進課 | 個別32 |
| 31 | 自然環境の保全と共生事業（市民団体の活動支援） | 市内で環境保全活動を行う、市民活動団体やNPOなどの活動支援を行います。 | 環境部 | 環境保全課 | |

重点事業

目標2 自然と暮らしがつながる仕組みづくり

| NO.3 | | | |
|-------------------|----|---|----------------|
| 2 | 目標 | 自然と暮らしがつながる仕組みづくり | |
| 1 | 施策 | 生物多様性に配慮した農業・農村の振興 | |
| 1 | 事業 | 多面的機能支払交付金事業 | |
| 事業概要 | | 農業者・非農業者が一体となり、地域ぐるみで農地周辺の水路の草刈り、泥上げ、農道の砂利舗装等の共同活動を行うことにより、農村の豊かな自然環境や景観の保全管理を行います。 | |
| 指標 | | 現況（平成27年度） | 目標 |
| 農業・農村の持つ多面的機能の認知度 | | 54.50% | 65.00% |
| | | | 目標年度 平成31年度 |

1. 取り組み実績

| 年度 | 実績等 |
|------|-------------------------|
| 28年度 | 農業・農村の持つ多面的機能の認知度 52.3% |
| 29年度 | 農業・農村の持つ多面的機能の認知度 53.5% |

2. 目標を達成するための具体的な取り組み

| 年度 | 具体的な取り組み内容 |
|------|--|
| 28年度 | 公民館や掲示板にPRパネルやポスターを掲示することで、農業・農村の多面的機能の認知度の向上を図った。 |
| 29年度 | イベント会場でのPRパネル展示や公民館でのPRポスター・活動実績を掲示することで、農業・農村の多面的機能の認知度の向上を図った。 |

3. 数値目標・事業内容の変更等について

| 年度 | 変更の有無（有の場合は、変更内容と理由を記入してください） |
|------|-------------------------------|
| 28年度 | |
| 29年度 | |

NO.4

| | | | | |
|------------------------------------|----|--|--------|--------|
| 2 | 目標 | 自然と暮らしがつながる仕組みづくり | | |
| 3 | 施策 | 生物多様性に配慮した暮らしの促進 | | |
| 1 | 事業 | 自然環境の保全と共生事業(生物多様性に配慮した行動の推進) | | |
| 事業概要 | | 生物多様性に配慮した行動の推進するために、普段の生活のなかでできる行動リストを作成し、市民団体と協働しながら普及に努めます。 | | |
| 指標 | | 現況（平成27年度） | 目標 | 目標年度 |
| 日常で環境に配慮した取り組みをしている市民の割合（市民意識調査結果） | | 76.00% | 80.00% | 平成32年度 |

1. 取り組み実績

| 年度 | 実績等 |
|------|---|
| 28年度 | くるめ生きものプラン（H29.2策定）に基づく新しい施策のため、取り組み実績なし。 |
| 29年度 | 日常で環境に配慮した取り組みをしている市民の割合 75.6% |

2. 目標を達成するための具体的な取り組み

| 年度 | 具体的な取り組み内容 |
|------|--|
| 28年度 | くるめ生きものプラン（H29.2策定）に基づく新しい施策のため、取り組み実績なし。 |
| 29年度 | 2月に市民参加型のワークショップを開催し、行動リストに掲載するための生物多様性に配慮した行動についての意見集約を行った。 |

3. 数値目標・事業内容の変更等について

| 年度 | 変更の有無（有の場合は、変更内容と理由を記入してください） |
|------|-------------------------------|
| 28年度 | — |
| 29年度 | — |

目標3 自然を守り、暮らしにつなげる人の育成

NO.6

| | | | | |
|------------------------------|----|--|--------------------|--------|
| 3 | 目標 | 自然を守り、暮らしにつなげる人の育成 | | |
| 2 | 施策 | 自然とのふれあいや環境保全活動を行う人材の育成 | | |
| 1 | 事業 | 環境まなびのまちづくり事業（市民団体との協働事業） | | |
| 事業概要 | | 市内で活動するNPOや市民団体を対象として、生物多様性の講座を実施し、人材の育成を図ります。 | | |
| 指標 | | 現況（平成27年度） | 目標 | 目標年度 |
| 市民団体等を対象とした生物多様性に関する講座等の参加者数 | | — | 講座等の参加者数 延べ120名 | 平成32年度 |

1. 取り組み実績

| 年度 | 実績等 |
|------|---|
| 28年度 | くるめ生きものプラン（H29.2策定）に基づく新しい施策のため、取り組み実績なし。 |
| 29年度 | 2月に生物多様性に関する講演開催（参加人数：40人）。 |

2. 目標を達成するための具体的な取り組み

| 年度 | 具体的な取り組み内容 |
|------|---|
| 28年度 | くるめ生きものプラン（H29.2策定）に基づく新しい施策のため、取り組み実績なし。 |
| 29年度 | 県と協働で生物多様性に関する講演を実施し、人材育成を図る。 |

3. 数値目標・事業内容の変更等について

| 年度 | 変更の有無（有の場合は、変更内容と理由を記入してください） |
|------|-------------------------------|
| 28年度 | — |
| 29年度 | — |

個別事業

目標1 生きものの生息環境が守られたまちづくり

NO.1

| | |
|------|---|
| 事業名 | 中心市街地拠点緑化事業 |
| 事業内容 | 多くの人が訪れ、人々が憩う場所である駅前広場や公共施設を花と緑の拠点とし、久留米つつじ等の緑化整備を行い、花と緑の拠点づくりを進める。 |
| 現況 | JR久留米駅から西鉄久留米駅までの「シンボルロード」における緑化スポットの整備、久留米シティプラザ周辺や西鉄久留米駅周辺などに緑化拠点を整備を計画的に実施する |

取り組み実績

| 年度 | 実績等 |
|------|--|
| 28年度 | 計画の策定 |
| 29年度 | 西鉄久留米駅東ロベデストリアンデッキ緑化工事（花壇整備） 周辺企業と植栽ボランティアによる協働による花植え実施 |

NO.7

| | |
|------|--|
| 事業名 | みどりの里地域活性化事業 |
| 事業内容 | 地域活性化と緑花木振興を図るため、耳納北麓地域に存在する地域資源を活用した各種施策を進める。 |
| 現況 | 耳納北麓農業体験等事業（くる農）の実施 |

取り組み実績

| 年度 | 実績等 |
|------|---|
| 28年度 | くる農の実績 イチゴ等の4品目において、8回実施。延べ参加人数 69人 |
| 29年度 | くる農の実績 桃等の10品目において、23回実施。延べ参加人数 154人 |

NO.12

| | |
|------|-------------------------|
| 事業名 | 自然環境の保全と共生事業（地域との協働事業） |
| 事業内容 | まちぐるみで行われる環境保全活動を支援します。 |
| 現況 | — |

取り組み実績

| 年度 | 実績等 |
|------|--|
| 28年度 | 地域でとりくむ希少種（エツ、ヒナモロコ等）の保全活動のなかで、生物多様性の普及啓発を行いました。 |
| 29年度 | 地域でとりくむ希少種（エツ、ヒナモロコ等）の保全活動のなかで、生物多様性の普及啓発を行いました。 |

目標2 自然と暮らしがつながる仕組みづくり

NO.13

| | |
|------|--|
| 事業名 | 環境保全型農業の推進（環境保全型農業直接支払事業） |
| 事業内容 | 市内で環境にやさしい農業に取り組む農業者グループを支援します。具体的には、化学肥料・化学合成農薬の5割低減の取組とともに、緑肥の作付、有機農薬、堆肥の施用などの取組を行った場合に国からの交付金が支給されます。 |
| 現況 | 取組農業者等 17団体 取組面積 248ha |

取り組み実績

| 年度 | 実績等 |
|------|---------------------------|
| 28年度 | 取組農業者等 15団体 取組面積 242ha |
| 29年度 | 取組農業者等 14団体 取組面積 210ha |

目標3 自然を守り、暮らしにつなげる人の育成

NO.25

| | |
|------|--|
| 事業名 | 環境まなびのまちづくり事業（環境交流プラザの活用） |
| 事業内容 | 環境交流プラザを活用して、自然環境の保全や共生、生物多様性の啓発を行います。 |
| 現況 | |

取り組み実績

| 年度 | 実績等 |
|------|-------------------|
| 28年度 | エコ巡りバスツアーの実施（41名） |
| 29年度 | エコ巡りバスツアーの実施（37名） |

NO.31

| | |
|------|--------------------------------------|
| 事業名 | 環境まなびのまちづくり事業（市民団体との協働事業） |
| 事業内容 | 市内で環境保全活動を行う、市民活動団体やNPOなどの活動支援を行います。 |
| 現況 | |

取り組み実績

| 年度 | 実績等 |
|------|--|
| 28年度 | くるめ生きものプラン（H29.2策定）に基づく新しい施策のため、取り組み実績なし。 |
| 29年度 | 6月と2月に市民団体との意見交換会を実施。（参加人数：6月7人、2月40人）市ホームページにて市民団体の活動紹介を実施。 |